

姫井保育園 入園のしおり

(兼 重要事項説明書)

社会福祉法人 労道社 姫井保育園
〒756-0055 山口県山陽小野田市旦西7301
TEL:0836-83-2371 / FAX:0836-83-6278

(2023年4月1日公開)
(2023年5月1日改定)
(2023年5月8日改定)
(2024年4月1日改定)
(2025年4月1日改定)
(2025年9月1日改定)
(2026年4月1日改定)

保育目標～きげんのいい子どもに～	2
遊びの大切さについて	2
開園時間と開園日	3
登園時間・降園時間	3
クラス編成	3
食育方針～おいしく楽しくマナーよく～	3
健康と安全	4
登園予定・欠席・連絡・打刻について	5
保育園からのお知らせについて	6
その他費用	6
一日保育参加	6
地域子育て支援センター事業	7
かみつきについて	7
子ども同士の喧嘩・怪我について	7
園内見取り図	8
送迎時の注意事項	8
個人情報の取扱いについて	8
持ち物・キャラクターについて	9
靴・服装について	9
保育園への苦情申出窓口	10
運営主体	10
運営の形態	10
施設・設備の概要	10
職員体制	10
【登園の目安一覧】	11

保育目標～きげんのいい子どもに～

姫井保育園の保育目標は「きげんのいい子どもに」です。「○○ができる子」や「我慢ができる子」とは違うので、はじめは馴染みにくいかもしれませんが、0歳から6歳ごろの子どもたちにとっていちばん大切な姿を目標とし、その姿に向けて職員とご家庭が手を取り合っていきたいという思いが込められています。

乳幼児期というのは一言で言えば「成長に向けた土台作り」の時期です。心と体を成長させるとともに、他人と関わる力の基礎を身につける時期となります。この時期に大切なことは周囲の大人から温かい眼差しで見守られることや、不快な気持ちや感覚を気持ちよくしてもらったり、辛い時や悲しい時に寄り添って共感してもらったりだと考えています。

周囲の大人は自分のことを大切にしてくれる人たちなんだという「基本的信頼感」や、こんなにも周りの人が自分のことを考えて自分のために色々してくれるということは、自分はそれだけ価値のある存在なんだという「自己肯定感」を手に入れることが出来るようになります。

「基本的信頼感」「自己肯定感」を土台に活発に遊び込む姿は「きげんのいい子ども」です。子どもたちがきげんよく過ごせるためには、大きく3つのことが必要と考えています。

あたたかな家庭的雰囲気の中でひとりひとりを受けとめ信頼と安心を持たせます

子どもたちが「自分の居場所」と感じられるような家庭的雰囲気を大切にしています。一人ひとりが「自分は大切にされている」と感じられるような関わりを目指しています。

緑豊かな自然の中で生き生きとした感覚と意欲を育てます

子どもたちは多くの情報を、視覚以外の嗅覚や触覚、聴覚、味覚からも手に入れていきます。

姫井保育園では園庭や園の周辺に緑豊かな自然環境がたくさんあります。冒険の森は夏場でも涼しいですし、土管の中はひんやりしていたり少しジメジメしていたりします。夏場は園庭に涼しげな木陰を作ってくれるモジバフウやケヤキの木も、秋になると葉っぱを落として子どもたちに楽しそうな遊び道具をたくさんプレゼントしてくれます。

四季折々の行事を取り入れ楽しみの多い生活をつくります

保育園の生活は基本的に毎日同じ流れにしています。毎日同じことを繰り返すことで、言葉をうまく使えない段階の子どもたちでも、次に何をするのか見通しを持つことが出来るためです。

同時に四季折々の行事を取り入れて、生活に彩りを加えています。「その日だけは特別」ということであれば、日頃の生活が変わらなると子どもたちも理解します。「特別な日」があることで日々の生活がマンネリにならず、「後〇日寝たら〇〇よね？」と楽しみにすることもできます。

行事はすべて子ども達のためにあると考えています。大人の目線からは「少し物足りないのでは？」と感ずることもあるかもしれませんが、特に運動会や発表会は子ども達が一番楽しめる時を本番にすることとともに、本番の前後も楽しみが続くことが大切だと考えています。

遊びの大切さについて

子どもたちは遊びを通して成長するものと考えています。保育園の子どもたちにはそれぞれの発達に合わせた遊びが様々に楽しめるように工夫をしています。

子どもたちが成長する「遊び」は机に向かって文字の練習をしたりドリルをしたりフラッシュカードを使ったりする、いわゆる「お勉強」のようなものではありません。どのような遊びであれ、周りが見えなくなるほど集中して取り組んでいることがこの時期の子どもにとって必要な「遊び」であり、将来のためにしっかりと成長出来る遊びです。

保育園の生活の中でできるだけ子どもたちが遊びこむ経験をして、きげんよく過ごせるように職員一同頑張っていこうというのが保育目標の「きげんのいい子どもに」が目指すところです。

開園時間と開園日

- 開園時間：午前7時～午後7時
- 開園日：日曜日、祝日、園が定める休園日を除く月曜日から土曜日

登園時間・降園時間

午前7時以降に登園してください。給食を取り置きできるのは正午までです。登園が正午を過ぎるときには昼食を食べさせてから登園してください。

午後7時までには必ず迎えに来てください。お仕事などが終わった後は、お子さんのために出来るだけ早めのお迎えをお願いします。

いつもの時間と大幅に異なる時間に送迎される場合は、保育園に連絡をお願いします。

登園時と降園時には園内に設置されているタブレットで「打刻」をしてください。延長保育料の計算や出欠確認で使用します。打刻がされていない場合には所在確認のため、電話連絡をする場合があります。

保育園はお仕事などでお子さんを見る方がいない場合に、保護者に代わってお子さんを預かる児童福祉施設です。土曜日にお仕事がお休みの場合は、ご家庭でお子さんを見ていただくようにご協力をお願いします。

朝7時から夜7時まで保育園は開園していますが、お子さんが一番安心できる親御さんのもとを離れて、長時間生活することはお子さんにとっても大変なことです。お仕事などの事情もよく分かりますが、長時間保育が毎日続いているお子さんは、やはり一日の終わり頃には疲れてきて、イライラしたり遊び込めなくなったりする姿が多々見られます。ご家族で工夫しながらお子さんの負担が減るようにご協力をお願いします。

クラス編成

年齢	クラス名	年齢	グループ名
0歳児	ばらぐみ		
1歳児	ゆりぐみ		
2歳児	ももぐみ		
3・4・5歳児	ほしぐみ	3歳児 (年少)	つくしグループ
		4歳児 (年中)	たんぼぼグループ
3・4・5歳児	つきぐみ	5歳児 (年長)	すみれグループ

姫井保育園では0歳児、1歳児、2歳児を年齢別のクラス編成とし、3歳児(年少)、4歳児(年中)、5歳児(年長)を異年齢クラス(3年齢が一つのクラスに在籍する)としています。

異年齢クラスは「子どもたちの育ち合い」をより豊かなものにするためです。年上の子どもと接しながらお手本にしたり、年下の子の面倒を見たり、お手本になる満足感や子どもたちのリーダーになって自信を付けたりして育ちます。

年齢別グループはつきぐみ・ほしぐみのクラスを横断した関係で、各年齢に一人ずつ担当職員がいて、週に数回、年齢別活動を行っています。また活動の都度、年齢別のグループで集まったりすることもよくあるので、同じ学年の子どもたちの連帯感が自然と生まれます。

特に5歳児では、最年長という自覚を持たせながら年長児ならではの課題に取り組み、小学校への準備にも留意して、「すみれグループ」として活動する時間を大切にしています。

食育方針～おいしく楽しくマナーよく～

食事は子どもにとって非常に大切なものです。子どもたちもご飯の時間をとても楽しみにしています。

できるだけ天然素材を使って、天然出汁を生かした薄味の食事にしていきます。園の畑やプランターで取れた野菜を食べたり、給食で使うこともあります。自分たちでおやつのカッキングをすることもあります。

一緒に過ごしている友達や先生と食卓を囲んで楽しい雰囲気の中で食事することは大切です。0歳児などでは「自分で食べること」が楽しいこともあるので、子どもたちが食べやすいように形を工夫しています。

「自分の食べる分は自分で決める」というバイキング形式を年中児と年長児で行っています。年少の子どもも年度の後半にはバイキングが始まります。「苦手なおかずでもひとかけらだけチャレンジしてみた」が「いつの間にか食べられるようになった」に繋がると願っています。

バイキングでは盛り付け例を見ながら、自分のお腹と相談して食べ切れる量を取るよう伝えていきます。自分で取ったものは自分で食べきるということが自立へとつながります。また、無理に食べさせる(完食させる)ことで「食事時間が辛い時間」とならないように、「おいしいご飯を、楽しく食べる」事が大切だと考えています。

食事は楽しい時間であり、子どもたちにとっても大切な時間です。そして、集団で生活する時に周りの人が不快に思うような行動はしないほうが良いということ子どもたちが自分で気付けるように、子どもたちの発達に合わせたサポートをしていくことが、食事の中でマナーを身につけることだと思っています。

【離乳食について】

離乳食では家庭で何度か食べてみて何も問題なかった食材で保育園の献立を作成します。(「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン(2019年改訂版)」参照)

【幼児食への移行について】

1歳半頃を目安に幼児食へ移行します。食品摂取状況調査表を参考にご家庭で色々な食材を食べて頂くようお願いしています。

【アレルギー対応について】

「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」の提出と最低年1回の更新をお願いします。

誤りがないように除去対象の食品については「完全除去」または「完全提供」のどちらかで進めています。

健康と安全

【感染症と登園の目安について】

お子さんがインフルエンザなど感染症に罹患した場合は、保育園を休ませてください。なお、熱でお休みした際は、解熱剤などを使わないで熱が下がりきった(平熱に戻った)後、24時間以上経過してから登園するようにご協力ください。

感染性胃腸炎やインフルエンザ、RSウイルス、アデノウイルスなどの感染症になることは保育園に通っていると避けられません。これらのウイルスの殆どは特効薬がないため、栄養をとって休息し、お子さん自身の免疫力でウイルスに打ち勝つか対応策がありません。

「保育所における感染症対策ガイドライン(2018年改訂版)」でまとめられているものを最後のページに載せてありますので、お子さんが病院で最後のページの感染症と診断された場合には、医師の指示とあわせて出席停止期間や登園の目安をご確認いただき、保育園での感染拡大防止にご協力ください。

子どもの病気による休みを取りにくい事情も多々あると思いますが、集団保育に責任を持つ園の立場として、保育園をできるだけ病気感染の不安のない安全な場所にしておくことが何より大切なことだと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

【怪我・事故について】

保育園に通っている子どもたちは身体の構造上、怪我をしやすいものです。小さな怪我の経験を通して大きな怪我をしないような体を育てていくと考えています。軽度の怪我はその場で応急処置を行い、お迎えの際にご説明します。

骨折やひどい捻挫等の重大な怪我が起きないように最善の注意を払っていますが、起きた場合には、至急総合病院等で診断・治療を行い、並行して保護者へご連絡します。

重大な事故が起きた場合には、保護者の方へは速やかに事故の状況を、現場の担当者を交えて具体的にお伝えし、適切な時期に治療費その他の責任や、事故防止についても率直に話し合いを持ちます。ご家庭と保育園との間に疑念や不信を残さないよう誠実な対応に努めます。

子どもたちの「やってみたい」を奪わないと同時に、安全を確保するために、子どもたちとの間で「約束事」を作っています。「いつかは自分たちも出来る」と分かるので約束事を守れるようになります。

どれだけ気をつけていても、人が人を育てている以上事故をゼロにすることはできません。限りなく事故をゼロに近づけるように職員の配置やルールを再確認し、遊具の安全点検を定期的に行っています。また、事故事例を園内で共有して再発防止に取り組んでいます。

安全に遊ぶためには子ども達が「約束事を守ること」を当たり前のことと感じることも必要です。社会で生きていくために必要なことは家庭でも保育園でも、その後の学校生活でもどこであってもしっかり繰り返し繰り返し子どもたちに伝えて理解できるようにしていく必要があります。

ご家庭でも子ども達が「約束事を守ること」を当たり前のことと感じられるように協力をお願いします。

【災害時の対応について】

災害発生時または災害が発生可能性が高いと判断されて警戒レベル3高齢者等避難開始が発令された場合には、山陽小野田市が出す情報に基づき、当園の立地状況、園児・送迎する保護者・職員の安全確保などを勘案して臨時休園または開園時間の短縮を行う場合があります。

警戒レベル3高齢者等避難開始が発令されていない場合であっても、園児・送迎する保護者・職員の安全確保が困難になると見込まれる場合には、臨時休園または開園時間の短縮を行う場合があります。

【特別な配慮が必要な園児について】

特別な配慮が必要な園児については、保護者と真摯に話し合い保育の内容を決めます。場合によっては関係機関と連携してその子にとって最善となる保育を検討し実施します。

一方で保育園は児童福祉施設であり医療の専門機関ではないため、軽い怪我の応急処置程度は行いますが、医療行為に相当する処置は原則行いません。

登園予定・欠席・連絡・打刻について

【登園予定の登録について】

就労証明等に基づき目安の登園予定を園側でコドモンに登録します。転職や退職・産休育休等で就労状況が変わった場合は、就労証明書の再提出または申立書の提出をお願いします。

繁忙期などで通常と異なる登園時間になる場合は、コドモンの「連絡」機能から登降園予定時間を登録してください。登園予定(入退室予定)の登録は利用予定日の3日前の午前9時です。複数日を一括で登録することも可能です。詳細はコドモン保護者用マニュアルをご参照下さい。

登録締切後に登園予定が変更になった場合は、連絡機能から修正をお願いします。

土曜日の登園予定(入退室予定)が登録されていない場合、保育を受けられません。締め切り(当週の水曜日の午前9時)までに必ず登録をお願いします。土曜日は登園する子どもが少ないため、子ども数に合わせて職員の配置を調整しています。ご協力をお願いいたします。

【欠席・遅刻の連絡について】

当日の午前9時までにコドモンの連絡機能から登録をお願いします。口頭でお伝えいただいた場合でも職員間の伝達漏れを防ぎ、お子さんの安全確保を十分に行うためコドモンで登録をお願いします。

【連絡の確認について】

欠席・遅刻等の連絡を保育園側で確認した場合、保護者アプリで「確認済」と表示されます。

保育中には連絡を確認できないことも多いため、「確認済」となっていない場合で急ぎの連絡が必要な場合には、電話でご連絡ください。急ぎではない場合にはコドモンの連絡機能を活用してください。

なお、園職員の既読・未読を確認出来るのは、「出欠申請」「お迎え」「その他」だけです。

【所在確認アラートについて】

9:30の時点で以下の全てに当てはまる場合には、コドモンの保護者アプリに「所在確認アラート」が表示されることがあります。園児の安全を確保するための機能のため、ご協力ください

1. 当日の午前11時までに登園予定がある
2. 欠席もしくは午前11時以降の遅刻予定がない
※保護者から申請があっても、施設側で「確認済」になっていなければ、「欠席もしくは午前11時以降の遅刻予定がない」と判定されます。
3. 登園予定時刻までに登園打刻がない
4. 遅刻 / 欠席連絡の確認(承認)ができていない

【打刻について】

登園時と降園時に園内に設置したタブレットで「打刻」をお願いします。きょうだい児は同時に打刻できます。きょうだい児のいずれかが欠席する場合には、欠席する園児のチェックマークを外すとチェックマークのないお子さんは欠席となります。

打刻忘れがあった場合には保育園側で修正打刻しますので、ご了承ください。

保育園からのお知らせについて

給食だよりのお知らせはコドモンの「お知らせ」として送信します。クラスだよりや給食だよりはコドモンの「資料室」にアップロードします。給食の献立表・お知らせは紙でも配布します。

地震や風水害、火災など緊急時の一斉連絡はコドモンの「お知らせ」として配信します。お知らせに既読が付かない保護者には電話で連絡します。コドモンの利用人数に制限はないので、ご家族のうち誰かが一斉連絡を受けられるようにして下さい。

日頃の保育の様子や給食のサンプルを「アルバム」として保護者アプリに送信します。保護者アプリから低画質の画像をダウンロードしたり、気に入った写真は購入も出来ます。詳細は別紙をご確認ください。

写真に写るお子さんに偏りが出るがありますが、日々の保育の様子を共有する目的ですのでご理解の程よろしくおねがいします。また、ダウンロードした写真には他のご家庭のお子さんも写っています。家族で楽しむことに留めるよう、よろしくお願ひします。

その他費用

給食材料費、絵本、ビニール袋、おむつ等の代金は月末に1ヶ月分の金額を集計し、翌月の10日頃までを目安に、後述する「エンペイ」で請求額をお知らせします。(保育園では現金の集金を行いません)

請求日から2週間程度を目安に支払いをお願いします。

※月末月初が休園日となる場合などには、請求が遅れる場合があります。ご了承下さい。

物品	金額	備考
通園かばん	4,600円	入園時のみ
手提げ袋	580円	入園時のみ
カラー帽子	1,080円	ゆりぐみ進級時、幼児クラス進級時に購入
雑費	月額300円	ティッシュ、トイレトペーパー、ペーパータオル、消毒用アルコール、雑巾等
エプロン手口拭き代	月額500円	ばら・ゆり・ももぐみのみ
コドモン等利用料	月額200円	補助金利用期間が終了したため
絵本	年齢別に設定	つきぐみ・ほしぐみのみ、毎月購入※1
給食材料費	月額4,750円	つきぐみ・ほしぐみのみ、毎月支払い※2
主食費	月額1,500円	つきぐみ・ほしぐみのみ、毎月支払い※2
ビニール袋	1枚5円	保育園から貸し出した場合のみ
おむつ	1枚20円	保育園から貸し出した場合のみ
延長保育料	1回200円	短時間保育認定者のみ※3

※1 年齢別の絵本代は400円～500円程度となります。詳細は担任までお問い合わせ下さい。

※2 1ヶ月以上前に長期の欠席予定がある場合や、特定の曜日のみ登園することが予め決まっている場合に限り、減額することがあります。

※3 8:30以前に登園打刻がある場合、または、16:30以後に登園打刻がある場合は園児1人1日につき200円となります。上限は子ども1人あたり月3,000円となります。

【費用の支払い方法】

「エンペイ」というサービスを使って保育園へ費用の支払いをお願いします。詳細は別紙のとおりです。LINEを利用していない場合には、紙の請求書をお渡します。担任までお知らせください。

一日保育参加

保育園でお子さんがどのような生活をしているのか、いつもの登園時間からいつもの降園時間まで一緒に生活してもらうことで体験してもらう活動を「一日保育参加」としています。

行事などで参加出来ない日もあります。事前に職員に参加希望日を伝えてください。また、一日保育参加で給食を食べた場合は、1人1回につき270円をお支払いください。

「保育参観」とは異なり、自分の子を「見る」だけでなく、保育士と同様に多くの子どもと関わり、多くの子どもと遊んだり、多くの子どもとの生活を体験してもらうのが保育「参加」です。家庭でのお子さんの姿と保育園での姿の違いに気づいたり、お子さんと他の友だちとの関係を知る事のできる体験です。

参加するときは自分のお子さんだけを見るのではなく、他の子ども達がどんなふうに遊んでいるのか、どんな会話をしているのかをたくさん見たり聞いたりしてみてください。保育士も毎日たくさんの子どもの様子を見て、たくさんの子どもの話を聞いています。日々の流れがどの様になっているのかを感じてもらい、どんな準備をすれば子ども達が遊び込める環境を作れるのか、どんな関わり方をすれば発達に合わせた関わり方が出来るのかを参考にしてもらえればと思います。

全クラス参加可能です。それぞれのクラスの担任に日程等の相談をして下さい。

地域子育て支援センター事業

保育園に入園していない親子が保育園に併設した子育て支援センター(はっぴいさくらぐみ)に来て一緒に遊んだり、園庭で遊んだりすることがあります。

地域の子育て家庭がつながりを見つけたり、遊び場を見つけたり、親のリフレッシュや子育てに関する悩み相談を受けたりするための取り組みです。

子どもが在園中でもきょうだい児が生まれて育児休業中などには利用することができます。

かみつきについて

1歳前半から2歳ごろにかけて、自我が芽生えてきますが、まだ意思表示をうまくできない時に噛みつきやひっかきが起こることがあります。保育園では頭ごなしに叱ったりしていません。

大切なのは噛み付くことには必ず理由があると考えて大人が行動することで、子どもたちは噛みつかなくても思いを伝える事ができると体験的に分かることだと思います。

この時期の子どもたちには「しつけ」として叱るよりも、認められ受け止められながら社会のルールという枠組の中で生きていくことを学ぶ経験をさせてあげることが、自我を真っ直ぐ育てることに繋がります。

噛み付かれた子の痛い、辛い、悲しい気持ち、噛み付いた子のイライラした悔しい気持ち、どちらにも丁寧に寄り添って子どもたちが言葉に出来なかったところを大人が代わりに言っ**てあげる**ことで、子どもたちの生まれたばかりの自我や人格はホッと安心します。大人から嫌われたのではない、無視されたのではないということが分かって、やっと他の子の痛みや悲しみも受けとめることが出来るようになるのです。そうやって初めて関わり合うルールが素直に学べるようになるのだと思います。

自分が尊重された経験の無い子は他人を尊重することはできないといわれています。お子さんが友達に優しくできる子になってほしい、お友達のことを大切に出来る子になってほしいと願うのであれば、お子さんに対して優しくあること、お子さんのことを大切にすることが近道です。

子ども同士の喧嘩・怪我について

子ども同士で遊ぶようになると、お互いの自己主張がぶつかって喧嘩になることがあります。保育園では双方の話を聞いて、それぞれの気持ちを大人が間に入って伝えています。また喧嘩の際に相手を怪我させるような事があれば、その行動は否定しますが、その子自身は否定しないように注意しています。

怪我をさせられた子どもを慰めると同時に、怪我をさせてしまった子どもの「大変なことをしてしまった」という気持ちに寄り添って、「こういう気持ちがいっぱいになったから怪我をさせてしまったんだね。じゃあ、どうすればよかったかな？」や「こういう気持ちになったときには、他のやり方があるよ」と子ども達が自分で望ましい関わり方を身につけられるように何度も繰り返して伝えています。

子ども同士のいざこざや喧嘩は子ども達の成長に不可欠なものなので、「喧嘩をさせないこと」は適切ではないと考えています。自分の思いを伝えることも、自分の思いと違う他の人を知ることも、どちらもとても大切です。様々な形で思いがぶつかる経験をしながら、子ども達は人との関わり方を学んでいきます。

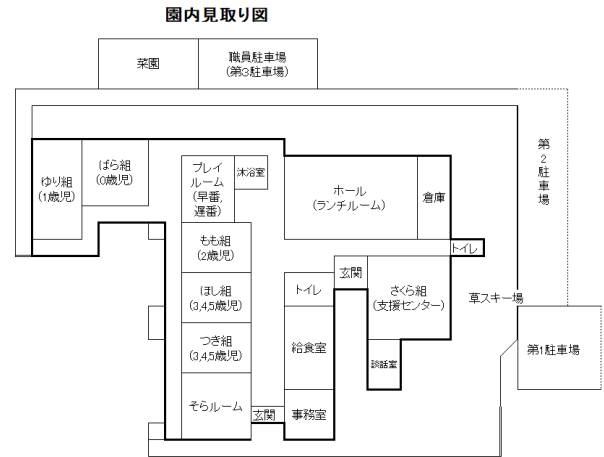
子ども達の成長の一つの過程として喧嘩が増える時があると思います。子ども同士の喧嘩で怪我をしたときには、双方のご家庭にお話をさせてもらっています。そんなときには保育園だけでなく、ご家庭でもお子さんのために慰めたり、気持ちに寄り添って、望ましい行動を教えていってもらえればと思います。

園内見取り図

保育園にお子さんを預ける際は全クラスウッドデッキ側からお願いします。

時間帯により登園している園児数が異なるため、保育室が変わる場合があります。詳しくはクラス・グループ別の入園・進級説明会で説明します。

慣れない間はお気軽に近くの職員にお尋ねください。



送迎時の注意事項

姫井保育園は住宅の中にある保育園です。送迎時は安全第一で、譲り合いの心で運転をお願いします。

第一駐車場(砂利の駐車場)への道は狭く見通しも悪いため、第二駐車場(サッカー場)も活用して下さい。

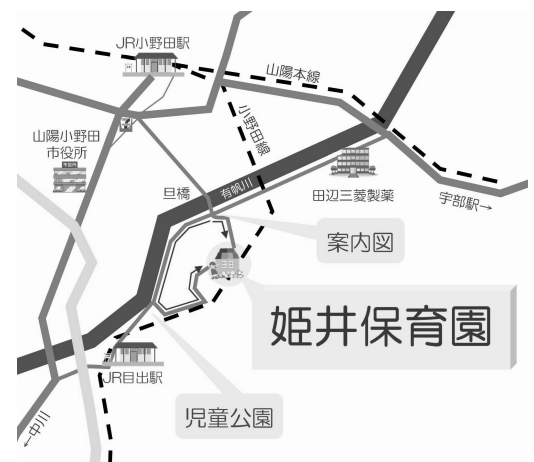
第一駐車場から出て旦東自治会館横の丁字路を進むときには、必ず一旦停止をし、ウィンカーを忘れずに出して下さい。

門扉の補助ロックは忘れずに掛けるようにして下さい。自分の後にすぐ出入りが明らかであればお互いに声を掛け合ってください。子ども達が一人で門扉の外に出ていけないように、すべての保護者で子どもたちの安全を守るように、ご協力をお願いします。

お子さんを迎えに来た後、駐車場でお子さんを遊ばせたり目を離したりしないようにして下さい。送迎の時間は駐車場に車が入り出すことが多く、思わぬ事故につながる可能性もあります。ご自身のお子さんだけでなく全てのお子さんの安全を守るように、お互いに声を掛け合って利用して下さい。

お迎えの後に園庭で遊んでいる間は、日中のような保育士の見守りはありません。暗くなる前に帰宅させるなど、保護者が責任を持ってお子さんの安全を守るようにお願いします。また、お迎えの後はお子さんが一人で園庭で遊ぶことがないよう、目を離さないようにお願いします。きょうだい児を迎えに行く際や保護者同士でお話する際なども、お子さんの見守りをするようにお願いします。

送迎する人がいつも異なる場合には、事前に職員に申し出てください。お預かりしているお子さんはいつも送迎する方以外には渡さないのが原則ですが、送迎が祖父母になる場合や、ファミリー・サポート・センターの職員に送迎を依頼する場合や、親戚などの方に依頼する場合は、事前に申し出があった場合に限りお渡しします。



個人情報の取扱いについて

持ち物については全て名前を記入してください。園生活に必要な範囲でロッカーなどに名前を記載します。児童票、健康調査票、就労証明書は保育上必要な目的以外は使用しません。

園児の連絡先は保育園から保護者へ連絡するために使用し、それ以外の方から求められても知らせることはありません。ただし、公的機関から法令等に基づく要請がある場合には知らせる場合があります。また、保護者会から求められた場合には、園児の名前に限定した名簿を渡すことがあります。

園児の日常を職員が撮影した写真は保育を共有する目的でゴドモンのアルバムで保護者限定で公開します。公開された写真はSNSにアップロードしたりせず、ご家族だけでお楽しみください。

保育園ではホームページでお子さんの生活の様子、活動の様子を公開することがあります。公開を望まない方は職員までお申し出ください。

個人情報保護に関する方針は下記のとおりです。

- 当園は、個人の人格尊重の理念のもとに、関係法令等を遵守し、実施するあらゆる事業において、個人情報を慎重に取り扱います。

- 当園は、個人情報を適法かつ適正な方法で取得します。
- 当園は、個人情報の利用目的をできる限り特定するとともに、その利用目的の範囲でのみ個人情報を利用します。
- 当園は、あらかじめ明示した範囲及び法令等の規定に基づく場合を除いて、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく外部に提供しません。
- 当園は、個人情報を正確な状態に保つとともに、漏洩、滅失、毀損などを防止するため、適切な措置を講じます。
- 当園は、本人が自己の個人情報について、開示・訂正・追加・削除・利用停止を求める権利を有していることを確認し、これらの申出があった場合には速やかに対応します。
- 当園は、個人情報の取扱いに関する苦情があったときは、適切かつ速やかに対応します。
- 当園は、個人情報を保護するために適切な管理体制を講じるとともに、役職員の個人情報保護に関する意識啓発に努めます。
- 当園は、個人情報保護の方針を当園職員に周知徹底し、確実に実施します。

持ち物・キャラクターについて

保育園に来る際は玩具など保育園で使わないものは持ってこないようにして下さい。また、鞄にお守りなどを付けるのもやめて下さい。他の子どもが家から持ってきたものを欲しがったりすることを避け、お守りが無くなったりちぎれたりするトラブルを避けることが目的です。

子どもたちにとってテレビやアニメのキャラクターは魅力的で刺激が強いものだと思います。保育園の中では自然に目を向けて、子どもたちが夢中になって遊び込んで欲しいと思っています。一方で「これは禁止されているキャラクターなのか？」と頭を悩ませたり、子どもが「キャラクターがついた服はいけんのよ」と他の子どもを注意したりする姿もおかしいと感じています。

園の思いはこれまでと変わりませんが、キャラクターのついた持ち物を持ってくるか否かは保護者におまかせすることとします。今後も目の前の子どもたちの姿を見ながらより良い形を模索していきます。

靴・服装について

【靴について】

保育園の子どもは足が未成熟なため、足の骨をしっかりと保護できる靴をおすすめしています。具体的には次のような靴を履かせて下さい。

- クッション性や安定感のある靴底のもの
- 靴底が柔らかく曲がり、つま先の位置で足に合わせて曲がるもの
- マジックテープなどで調整でき、靴の中でかかとが動かないもの
- 足の大きさにあっているもの(かかとを合わせたときに足の指が自由に動かせる)
- 通気性の良いもの(蒸れると菌が繁殖しやすくなります)
- 華美になりすぎないもの

【服装について】

園の制服はありません。子ども達の体を守り、生活習慣を身に付けやすく、活発に遊び込めるために、次のような服装を着させて下さい。

- 体にあったサイズのもので動きやすいもの
- 服の着脱やトイレを子どもが自分で行いやすいもの
- 引っかかって窒息する恐れがあるため、フードの無いタイプのもの
- 虫刺されや擦り傷切り傷から身を守るために肌が出過ぎないもの
- 子ども達が服の汚れなどを気にせず「遊び込める」ように汚れても良いもの

つきぐみ・ほしぐみの子ども達は家から着てきた防寒着を戶外遊びの際にも使用します。外遊びなどが思い切り出来るように、保育園での生活に適した防寒着を着せるようにお願いします。

保育園への苦情申出窓口

当園では、社会福祉法第82条の規定に即して、保護者の皆様からの保育に関する苦情に適切に対応する窓口と手続きを設けています。保育園に伝えたいこと、疑問に思ったことがあればどの職員でも構いませんので話しやすい職員に伝えていただければと思います。職員にお伝えいただければ、苦情受付担当者となる主任保育士が詳しくお話を伺い、苦情解決責任者である園長に報告し、園長が責任を持って解決に取り組みます。話し合いにはご希望があれば苦情受付担当者も加わります。

社会福祉法人 労道社の監事2名(柏木啓子、板持俊一郎)が第三者委員としてお話を伺うこともできます。その他、山口県社会福祉協議会が設置する福祉サービス運営適正化委員会に申し立てることができます。

保育園としても可能な範囲で保護者の願いには誠意を持って応えたいと思っておりますが、全ての申し出に対して応えることが出来るとは限りません。これは保育園として大切にしていることと異なる場合や、集団保育を行っていることから個別対応の限界があることや、制度の問題で対応が難しいことなどが考えられます。

何より「苦情」という形で伝えたいと思う前の段階で気軽に保育士等に話ができる関係づくりこそが、「一緒に子育てをしていくパートナー」としての保護者と保育園の関係には大切だと思っております。

運営主体

法人名	社会福祉法人 労道社
法人の所在地	山口県山陽小野田市大字小野田7301番地
法人の電話番号	0836-83-2371
代表者氏名	理事長 水野勝文
法人の設立日	1994年10月1日(社会福祉法人の認可日)

運営の形態

種別	認可保育所	所在地	山口県山陽小野田市旦西7301		
名称	姫井保育園	連絡先	電話番号:0836-83-2371 / FAX番号:0836-83-6278 / 携帯電話:080-8719-5391		
開設年月日	1922年(大正11年)3月21日(前身となる「長陽育児園」の開設日)	施設長氏名	園長 水野勝文		
ホームページ	https://himeihoikuen.com/	メールアドレス	info@himeihoikuen.com		
利用定員	0歳(ばらぐみ)	13人	3歳(つくしグループ)	15人	
	1歳(ゆりぐみ)	15人	4歳(たんぼぼグループ)	32人(合計人数)	
	2歳(ももぐみ)	15人	5歳(すみれグループ)		
実施事業	○延長保育事業 ○障害児保育事業 ○地域子育て支援拠点事業				

施設・設備の概要

敷地面積	2,273.51㎡				
園舎	構造	鉄筋コンクリート造 平屋建て			
	延床面積	669.61㎡			
施設設備の数と面積	乳児室・ほふく室	3室	121.06㎡	医務室	1室 12.49㎡
	保育室	4室	178.49㎡	便所	4室 33.17㎡
	地域子育て支援スペース	1室	53.70㎡	沐浴室	1室 11.39㎡
	厨房	1室	27.20㎡	倉庫・物入・押入	10室 41.61㎡
	事務室	1室	20.80㎡	廊下・ホール	169.7㎡
設備の種類	全館冷暖房、空気清浄機完備、駐車場、菜園、草スキー場、幼児用AED、110番非常通報装置				
園庭面積	1,449.6㎡				

職員体制

職名	常勤	非常勤	備考
園長	1名		
保育士	16名	10名	
栄養士	1名		
調理員		3名	
嘱託医		1名	西村内科医院
嘱託歯科医		1名	嶋本歯科医院

【登園の目安一覧】

「保育所における感染症対策ガイドライン」に記載された登園の目安は①お子さんの全身状態が回復していて保育園で集団生活ができるようになっていて、②他のお子さんなどに感染を広げないことです。

保育園の子どもたちに流行する事が多い感染症について、ガイドラインに記載された登園の目安をご紹介します。具体的な登園の目安は主治医の指示に従ってください。

例えば2月1日にインフルエンザを発症(主に発熱を指します)し、2月4日に解熱した場合、登園出来るのは2月8日からとなります。

2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日
発症	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目			
			解熱	1日目	2日目	3日目		
							登園可能	

感染症名	感染しやすい期間	登園の目安
麻疹(はしか)	発症1日前から発疹出現後の4日後まで	解熱後3日を経過していること
インフルエンザ	症状がある期間(発症前24時間から発症後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日経過し、かつ解熱した後3日経過していること
風疹	発疹出現の7日前から7日後くらい	発疹が消失していること
水痘(水ぼうそう)	発疹出現1～2日前からかさぶた形成まで	全ての発疹がかさぶたになっていること
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、充血等の症状が出現した数日間	発熱、充血等の症状が消失した後2日経過していること
流行性角結膜炎	充血、目やに等の症状が出現した数日間	結膜炎の症状が消失していること
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失していること又は適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了していること
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間が経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事が取れること
伝染性紅斑(りんご病)	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎(嘔吐下痢症) ロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルスなど	症状のある間と、症状消失後1週間 (数週間はウイルスを排出し続ける)	嘔吐、下痢の症状が治まり、普段の食事が取れること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1ヶ月程度ウイルスを排出する)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事が取れること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
带状疱疹	水疱を形成している間	すべての発疹がかさぶたになっていること
突発性発疹	-	解熱し機嫌がよく全身状態が良いこと
新型コロナウイルス	発症後5日間	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること ※無症状の感染者の場合は、検体採取日を0日目として、5日を経過すること